

特集

住民の声をどう施策へつなげるか 質的データを活用する工夫

地域アセスメントにおける質的データ活用の意義

佐伯和子, 平野美千代

質的データをどのように施策へつなげるのか 吉岡京子

家庭訪問で得た質的データを保健事業に活かす 大木幸子

【質的データ活用の実例】

①母子保健分野の実践例 上田 泉

②地域防災力の強化の取り組み 小西美香子

③データヘルス計画策定における質的データの重要性

村松照美, 宮澤さかえ

PHOTO

体験型食事診断教材を用いた働く世代への栄養指導の 取り組み

連載

事例で学ぶ：悩める妊婦の相談対応 橋本栄里子ほか

統括保健師の日々 牧野 恵

ナカイタ発 保健師へのつぶやき 中板育美

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●はじめまして、今春より新たに本誌編集を担当させていただきま
す。昨年度まで『訪問看護と介
護』誌を、それ以前は看護学生向
けテキストの編集を担当していま
した。10年以上前、看護学生向
けの『病理学』のテキストで初め
て肝硬変や肝がんの異形な組織写
真を見たときの衝撃は、よく覚え
ています。今特集を通じ、その記
憶とともに肝炎対策の保健活動の
重要性に思いを馳せました。これ
から取材やご執筆にてお世話にな
ります。ご指導いただけますよ
う、よろしくお願いいたします。

(小林)

●今月は特集で肝炎について取り
上げました。話題には事欠かない
印象の肝炎ですが、もちろん特集
記事の中でもインターフェロンフ
リー治療の登場に触れられていま
す。他にも肝炎といえ、偽造品
の問題も世間に大きな衝撃を与え
ました。医薬品には正規の販売
ルートと複数の卸売業者を介する
ルートが存在しており、今回は一
度流通した商品を扱う「現金問
屋」に偽造品が持ち込まれたよう
です。この流通経路自体は違法な
ものではないのですが、治療の進
歩、自治体での疾患対策と同様
に、やはり時代に応じた法整備も
待たれるのだらうと思います。

(長原)

保健師ジャーナル 第73巻第6号 2017年6月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2017年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、

電子版/個人：本体14,280円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：小林/長原/伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有
します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限
られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上
記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合で
あっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話
03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。